

【公報種別】 特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】 第 6 部門第 3 区分
 【発行日】 平成 19 年 9 月 20 日 (2007.9.20)

【公表番号】 特表 2007-522581(P2007-522581A)
 【公表日】 平成 19 年 8 月 9 日 (2007.8.9)
 【年通号数】 公開・登録公報 2007-030
 【出願番号】 特願 2006-553109(P2006-553109)
 【国際特許分類】

G 0 6 F 21/22 (2006.01)

G 0 6 F 3/048 (2006.01)

【F I】

G 0 6 F 9/06 6 6 0 N

G 0 6 F 3/048 6 5 4 C

【手続補正書】

【提出日】 平成 19 年 7 月 18 日 (2007.7.18)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】 特許請求の範囲

【補正対象項目名】 全文

【補正方法】 変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

ユーザインターフェースを有するコンピュータに関して、
 アクションがブロックされるウェブページに関連付けられたオブジェクトの説明を含む
 モードレスプロンプトを表示することと、
 前記オブジェクトに対応する対話式プロンプトを表示することと
 を備え、
 前記オブジェクトは、アクションがブロックされることがあり、前記モードレスプロンプトに説明が現れることがある複数種類のオブジェクトの 1 つであることを特徴とする方法。

【請求項 2】

前記対話式プロンプトは、ユーザアクションにより前記アクションをブロック解除し得るようにすることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 3】

前記オブジェクトの説明は、前記ウェブページに関連付けられた、さらにブロックされたオブジェクトの説明に従って表示され、前記方法は、前記ブロックされたオブジェクトおよび前記さらにブロックされたオブジェクトの少なくとも 1 つをアクションされ得るようにすることをさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 4】

前記オブジェクトの説明を表示することは、ユーザアクションに応答して行われることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 5】

前記オブジェクトの説明を表示することは、前記モードレスプロンプトの一部の上にポインタがホバーしているときクリックすることを含むユーザアクションに応答して行われることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 6】

前記オブジェクトは、前記ウェブページに関連付けられ、ダウンロード可能コード、URL、ポップアップウィンドウ、またはファイルへのリンクのいずれか 1 つを含むことを

特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 7】

前記オブジェクトは、リモートサーバ上のオブジェクトへのリンクであり、さらに前記リモートサーバ上のオブジェクトは、ダウンロード可能コード、スクリプト、ポップアップウィンドウ、ビデオファイルへのリンク、オーディオファイルへのリンク、またはテキストファイルへのリンクのいずれか 1 つを含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 8】

前記オブジェクトの説明は、前記ウェブページに関連付けられた、さらにブロックされたオブジェクトの説明に従って表示され、

前記方法は、可能にすることと、少なくとも前記ブロックされたオブジェクトおよび前記さらにブロックされたオブジェクトの特定の 1 つに適切であるアクションとをさらに備えることを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【請求項 9】

ウェブページに関連付けられた複数種類のオブジェクトの少なくとも 1 つについてのアクションがブロックされることの通知を表示することと、

前記オブジェクトの説明をモードレスプロンプトで表示することであって、前記複数種類のオブジェクトのすべてについての説明が表示され得ることと、

対話式プロンプトを表示して、前記オブジェクトをアクションされ得るようにすることと

を備え、

前記オブジェクトの説明は、前記ウェブページに関連付けられた、ブロックされたオブジェクトの一連のリストと関係して表示されることを特徴とする方法。

【請求項 10】

コンピュータに關係して、ウェブページに関連付けられた、検出されたオブジェクトに従ってプロンプトを提供するユーザインターフェースであって、

ウェブページに関連付けられた複数種類のオブジェクトの少なくとも 1 つについてのアクションが抑制されたことの通知を表示する、モードレスプロンプトのテキストフィールドであって、前記複数種類のオブジェクトのすべてについての説明が表示され得る、テキストフィールドと、

前記テキストフィールドとの対話を使用して、前記アクションをアクティブ化し得るようにするモーダルプロンプトと、

前記オブジェクトの説明を表示するインターフェースと

を備えたことを特徴とするユーザインターフェース。

【請求項 11】

前記テキストフィールドは、前記ウェブページに取って代わることを特徴とする請求項 10 に記載のユーザインターフェース。

【請求項 12】

前記モーダルプロンプトは、前記テキストフィールドの一部をカーソルが指しているときユーザが前記アクションをアクティブ化し得るようにすることを特徴とする請求項 10 に記載のユーザインターフェース。

【請求項 13】

前記オブジェクトの説明は、対応するアクションを抑制したウェブページに関連付けられたカスケード表示のリストに関連して表示されることを特徴とする請求項 10 に記載のユーザインターフェース。

【請求項 14】

前記オブジェクトは、前記ウェブページに関連付けられ、ダウンロード可能コード、スクリプト、またはリンクされたファイルのいずれか 1 つを含むことを特徴とする請求項 10 に記載のユーザインターフェース。

【請求項 15】

前記オブジェクトは、リモートサーバ上のオブジェクトへのリンクであり、さらに前記

リモートサーバ上の前記オブジェクトは、ダウンロード可能コード、スクリプト、ビデオファイルへのリンク、オーディオファイルへのリンク、またはテキストファイルへのリンクのいずれか1つを含むことを特徴とする請求項10に記載のユーザインターフェース。

【請求項16】

前記テキストフィールドは、モードレスプロンプトであることを特徴とする請求項10に記載のユーザインターフェース。

【請求項17】

前記オブジェクトの説明および前記オブジェクトについての前記アクションの説明は、さらなるオブジェクトおよび前記さらなるオブジェクトにそれぞれ対応する抑制されたアクションのリストに関連して表示されることを特徴とする請求項10に記載のユーザインターフェース。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0042

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0042】

オブジェクト208のコンテンツがレンダリング可能でないと判定される場合(526)、オブジェクト208のコンテンツがダウンロードを必要とするかどうかについて判定を行う(527)。オブジェクト208のコンテンツがダウンロードを必要としないと判定される場合(527)、オブジェクト208に対してアクティブ化の機会320が提供される。アクティブ化の機会320は、オブジェクト208のコンテンツを自動的にブラウザ上にレンダリングすることを含むことができる。あるいは、モーダルプロンプトを表示して、オブジェクト208のレンダリングを対話式に受諾または拒否する機会をユーザに提供することができ、またはモードレスプロンプトを表示して、オブジェクト208のレンダリングの機会をユーザに通知することができる。

【手続補正3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0058

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0058】

モードレスプロンプト805の例示的な実施形態はまた、前述のようにアクションが抑制されたオブジェクト208の詳細を検討するための対話式の機会をユーザに提供することもできる。例えば、カーソル807がモードレスプロンプト805の一部の上をホバーすると(ユーザがポインタをアクティブ化する必要があってもなくてもよい)、メニュー810を表示して、アクションが抑制された何らかのオブジェクト208の特性をユーザに知らせることができる。例として、メニュー810は、前述の図4~7におけるオブジェクト208の特性をリストしているが、このような実施形態は単に例として提供している。図8Aで、メニュー810は、抑制されることになる以下のオブジェクトのアクションを示している。すなわち、ユーザ以外によって開始されたコードインストール815、ブラウザ内で安全に表示されない可能性があるコード820、ポップアップウィンドウ825、セキュリティ設定を超えるオブジェクト830である。しかし、メニュー810の代替の実施形態は、項目815、820、825、830のうちの1つだけを含んでもよい。すなわち、このような代替の実施形態では、一番最近ブロックされたオブジェクト208に関係するメニュー項目を表示することができる。